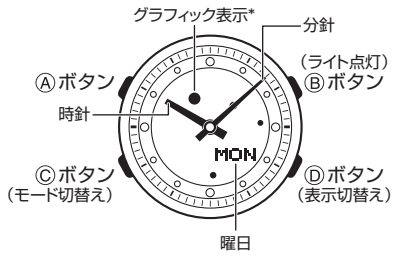
Operation Guide 3799

CASIO

操作のしくみと表示の見方 （本書の表示例では、アナログ部（針）およびグラフィック表示を省略する場合があります。）

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード



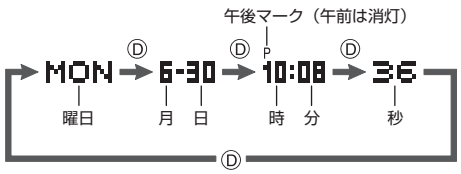
★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

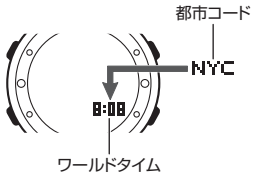
* グラフィック表示（文字板上に表示される大小の水玉模様）について
グラフィック表示は、各モード（セット状態を除く）の下記の値に連動して、点灯／消灯します。
時刻モード：秒
ワールドタイムモード：秒
タイマーモード：残り時間の分
ストップウオッチモード：計測値の秒

★表示切替えについて

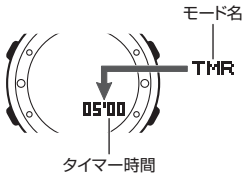
Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。



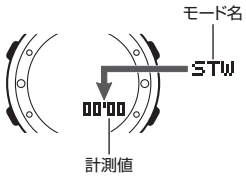
ワールドタイムモード



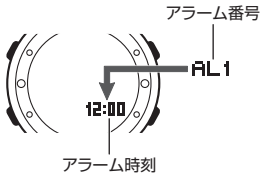
タイマーモード



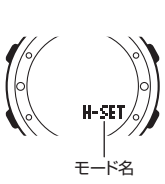
ストップウオッチモード



アラームモード



ハンドセットモード



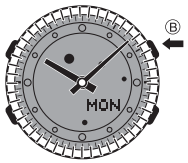
ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

■ ライトを点灯させる

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

※点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます（「ライト点灯時間の切替え」参照）。

※ライト点灯後 Ⓑ ボタンを押し続けても、点灯時間は「約1.5秒間だけ」または「約3秒間だけ」になります。

〈ご注意〉

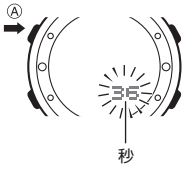
- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

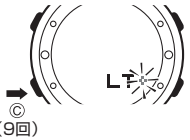


➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. ライト点灯時間切替えにする

Ⓒ ボタンを9回押します

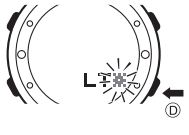


➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が移動します。

* 点滅箇所の移動については「ホームタイム都市の設定／時刻・カレンダーの合わせ方（デジタル部）」参照。

3. 点灯時間を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

※ ∴ マーク＝約1.5秒間
※ ※ マーク＝約3秒間

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

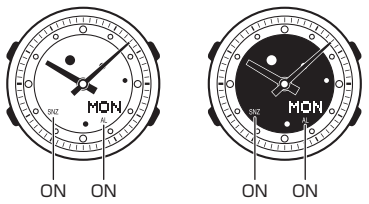
➡点滅が止まり、セット完了です。

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>　<Bタイプ>



ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

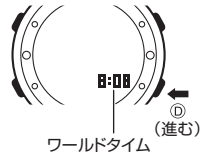
ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を調べることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の「都市コード」を表示後、その都市の時刻を表示します。
※時刻モードで基本時刻（ホームタイム）および都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、その都市の時刻を表示します。
※「都市コード」を約1秒表示した後に、「時刻」を表示します。
※押し続けると早送りします。



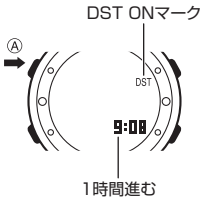
■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
●サマータイムを採用していない国や地域があります。
●サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

■サマータイムの設定

1. ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押してサマータイムを設定したい都市コードを選びます。

2. **Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます**



➡「サマータイム」に設定され、DST ONマークが点灯します。
＊サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。

※「サマータイム」に設定されているときに、Ⓐボタンを約2秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。
※各都市ごとにサマータイムの設定ができます。
※“GMT”表示のときは、サマータイム設定はできません。

■都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
――		−11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、イスタンブール
HNL	ホノルル	−10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	−9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、モスクワ、ナイロビ、リヤド
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル/タコマ	THR	テヘラン	+3.5	
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4	アブダビ、マスカット
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ、ダラス／フォートワース	KBL	カブール	+4.5	
				KHI	カラチ	+5	マーレ
				DEL	デリー	+5.5	コロンボ
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、リマ、マイアミ、ボストン	DAC	ダッカ	+6	
				RGN	ヤンゴン	+6.5	
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ、ラパス	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス	HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
――		−2					
――		−1	アゾレス諸島	TYO	東京	+9	ソウル、平壌
GMT		±0	＜グリニッジ標準時＞	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	±0	ダブリン、リスボン	SYD	シドニー	+10	グアム、ラバウル
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2007年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で60分までセットすることができ、1秒単位で減算計測を行ないます。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。
＊ タイマー方法の選び方については「タイマーのセット」参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※繰り返し計測は合計8回行なうと、自動的に計測がストップします。

■電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。
＊ 予告音のON／OFF設定については「タイマーのセット」参照。

●予告音 ONに設定したときは

残り時間5分10秒～5分のとき	1秒ごとに電子音が鳴ります。
残り時間4分～1分のとき	1分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間30秒	電子音が1秒鳴ります。
残り時間10秒～0秒（タイムアップ）	1秒ごとに電子音が鳴ります。

※セットした時間が5分以下のときは途中から鳴ります。

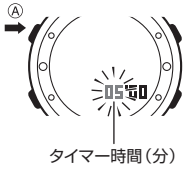
●予告音 OFFに設定したときは

セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。
※電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■タイマーのセット

1. **セット状態にする**

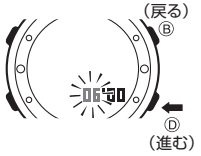
タイマーモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押し続けます



➡タイマー時間の「分」が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. **タイマー時間をセットする**

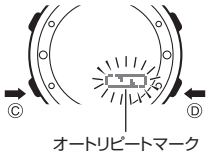
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ タイマー時間は1分（01'00）～60分（60'00）までセットできます。

3. **タイマー方法を選ぶ**

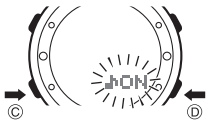
Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマー“→”とオートリピートタイマー“↻”が切り替わります。

4. **予告音のON／OFFを選ぶ**

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとにON／OFFが切り替わります。
※ ♪ON＝予告音ON
♪OF＝予告音OFF

5. **セットを終わる**

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

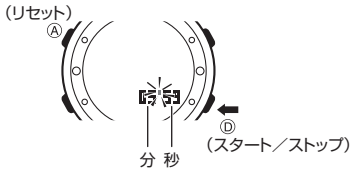
■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は 1 秒単位で行ないます。

※残り時間に連動して、グラフィック表示が点灯／消灯します。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL4）

設定した時刻になると 20 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

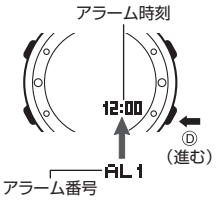
設定した時刻になると 20 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

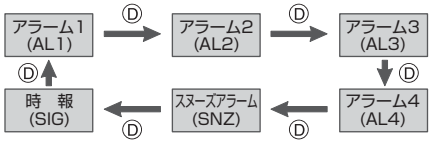
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

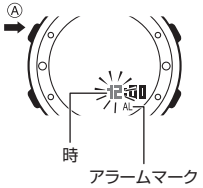
➡ Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。





2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます



➡「時」が点滅します。

※ セット状態になると、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。

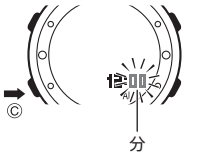
※ スヌーズアラームのときは、スヌーズマークも点灯します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

3. セット箇所を選ぶ

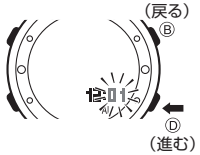
Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

手順3.～4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームの ON ／ OFF 設定

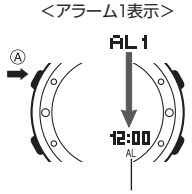
準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

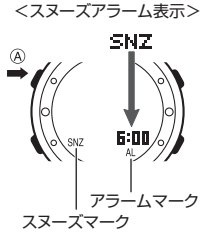
Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。

※アラームを ON に設定すると、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。
なお、アラームマークは、すべてのアラームが OFF になるまで他のモードに切り替えても点灯したままになり、いずれかのアラームが鳴る設定になっていることを表わします。

※スヌーズアラームのときは、スヌーズマークも点灯します。





■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中に以下の操作を行なうと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
- ●スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
- ●スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- ●時刻モードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

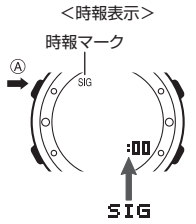
■ 時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON ／ OFF が切り替わります。

※時報をONに設定すると、時報が鳴るように設定され、時報マークが点灯します。
なお、時報マークは、OFF に設定するまで他のモードに切り替えても点灯したままになり、時報が鳴る設定になっていることを表わします。



ホームタイム都市の設定／時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

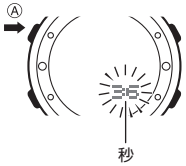
電池交換後などで、ホームタイム都市や時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部（針）も修正してください。

■ホームタイム都市の設定／時刻・カレンダーの合わせ方（デジタル部）

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約２秒間押し続けます

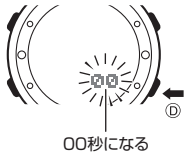


➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせてⒹボタンを押します

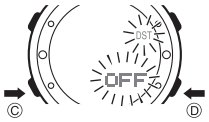


➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します



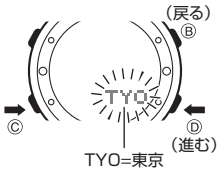
➡Ⓓ ボタンを押すごとにON／OFFが切り替わります。

※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON ＝サマータイムON（夏時間）

＊ サマータイム（DST）については「サマータイム（DST）について」参照。

4. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに「都市コード」が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

＊「都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

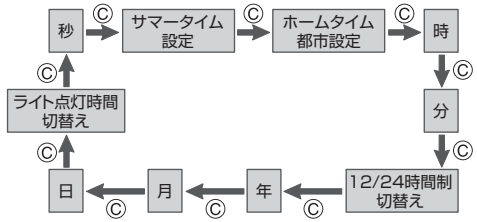
※ ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。

5.「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

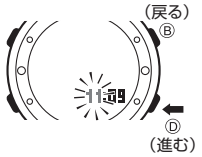


➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



＊ ライト点灯時間の切り替えについては「ライト点灯時間の切替え」参照。

b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**



➡Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「12/24時間制切替え」のときは、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

手順a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

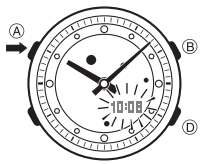
■アナログ部（針）の合わせ方

アナログ部とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備：「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます



➡現在時刻が点滅して、セット状態になります。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. アナログ部を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早く進みます（針は逆方向には進みません）。

＜針の自動早送り＞

- Ⓓボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、ボタンから手を離しても針が進み続けます。
- 自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、分針の位置はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。

※ Ⓒ ボタンを押して、使いたいモードに切り替えてください。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

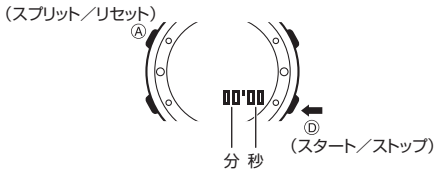
ストップウオッチは1秒単位で59分59秒（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※計測値に連動して、グラフィック表示が点灯／消灯します。



★計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（スプリットマーク点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

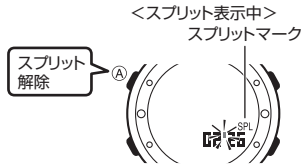
●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット